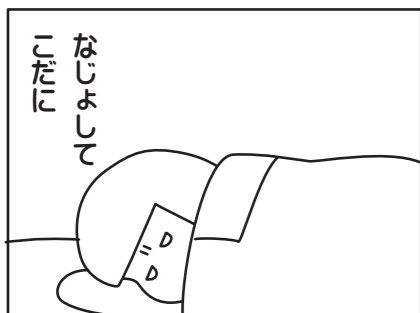
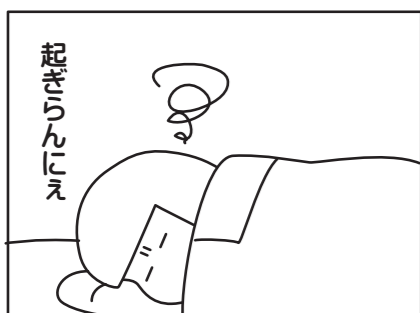
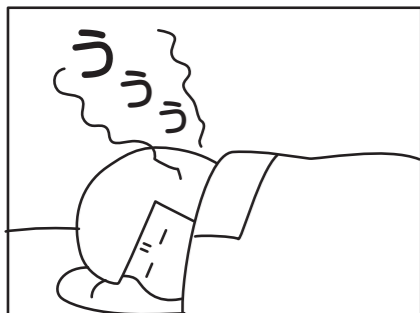


ほんこのころろ

作 本町かずこ
昭和の寢床



重いわ硬いわで、なんだもね

ちょっといいなし

■日本赤十字社資功による 金色有功章を伝達

4月9日、鈴木市長（日本赤十字社福島県支部白河市地区長）から、白河農業協同組合（小室信一代表理事組合長）に金色有功章が伝達されました。

同組合の、日本赤十字社福島県支部白河市地区に対する寄付等の累計額が、50万円を超えたことから表彰されたものです。



輝きの記録

JOCジュニアオリンピックカップ 第25回都道府県対抗ジュニアバスケットボール大会出場

3月28日～30日／東京体育館（東京都）ほか

福島県女子Aに選抜された中央中2年の皆さん

（写真左からの順）

齋藤彩実さん・遠藤桐さん・矢上彩乃さん・國井彩友美さん



今月のありがとう

ボランティア活動を紹介します



▲夢屋白河店の皆さん



▲山田設備工業(株)の皆さん

3月22日、夢コーポレーション(株)夢屋白河店の皆さんが、自店近隣の松風の里県営住宅周辺の清掃を行いました。

4月14日、山田設備工業(株)（山田義顕代表取締役）の皆さんが、白河桜まつりの開催に合わせ、城山公園周辺の清掃を行いました。

また、25日には、ダイナム白河店の皆さんが南湖公園周辺の清掃を行いました。

白河を熱くする人たち

■日本一の肉牛（交雑種）を生産



ふかざわとしみ 深澤敏美さん・ナツさん

東栃本

確実に前進している白河のまちづくり。若い世代の方に関心を持ってほしい。

地域活性化伝道師――。

内閣府が各分野における地域興しのスペシャリストを伝道師として任命し、指導・助言等を行うために全国各地へ派遣する制度で、4月1日現在、全国で273人が登録されています。その伝道師に、本市で初めて古川直文さんが任命されました。本市のまちづくりにかかわって10数年の実績が認められたものです。

任命を受けての意気込みや、伝道師の目から見た白河について伺いました。

「突然の任命に驚きましたが、白河で行われているまちづくりの活動や楽市白河の活動が、国にも認められているのだと感じました。伝道師として白河や他の市町村のお役に立てれば、このうえなくうれしいことです。白河のまちづくりは、行政・白河商工会議所・まちづくり会社である楽市白河の3者が強い関係で結ばれ、様々な事業やイベントを協力して実施しているところが素晴らしいですね。もちろん問題や課題はありますが、まちづくりは確実に前進しています。今後はぜひ多くの方に関心を持ってほしい。特に若い世代の皆さん。どんどんまちづくりに

様々な分野で活躍する人や、活躍が期待される人を紹介するコーナーです。今回は「全国」を舞台に活躍する人たちを紹介します。

平常心を保つことが大事。さらに品質向上にこだわりたい。

3月7日、東京都中央卸売市場で開催された全国肉牛事業協同組合第3回枝肉共励会（交雑種）で、見事グランドチャンピオンに輝いた深澤敏美さんと妻のナツさん。東日本大震災を乗り越えて受賞したいきさつを伺いました。

「震災後は、とにかく購入飼料（えさ）が手に入らなくて困りました。地震でえさ工場が被災し、えさの生産ができなくなりました。その影響は1か月続きました。でも、あきらめたらそこでおしまい。平常心を保つことを心掛けました。牛に与える購入飼料の量を減らし、保管しておいた稲わらで牛の空腹を満たしました。何とか苦難を乗り切った先にあったのが今回の受賞です。今後も甘んじることなく、日々努力して、品質の向上にこだわりを持ち続けていきます」

今回の受賞は、「風評」という壁に立ち向かわなければならぬ福島県民にとって、大きな励みになるものです。

あきらめないこと――。苦難の末に栄光を手にした深澤さんの言葉には、風評に負けない強い思いが込められていました。

■内閣府任命 地域活性化伝道師



ふるかわなおみ 古川直文さん (株)楽市白河 取締役

参加してください。白河が今以上に魅力のある住みやすいまちになるように、色々なアイデアを聞かせてほしいですね」

伝道師として決意を新たに、まちづくりにかける思いを熱く話す古川さん。今後、さらなる活躍が期待されます。